患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることは一切ございません。

【研究課題名】　宿便性大腸穿孔の手術治療成績の検討

１．研究の意義

宿便性大腸穿孔（糞便によって腸管の内圧が上がって、腸管の脆弱なところに穴があいておなかのなかに糞便がもれだすこと）による急性腹膜炎は、敗血症や多臓器不全を来し得る外科的救急疾患であり、迅速な診断と適切な治療が患者さんの予後を大きく左右します。高齢化や併存疾患を有する患者の増加に伴い、患者さんの背景や発症原因は多様化しており、治療成績に影響を及ぼす因子や治療方法について、実臨床データに基づく検討が重要であると考えます。本研究では、当科における宿便性大腸穿孔の治療成績を後方視的に解析し、患者背景、原因疾患、重症度、手術方法、術後治療と、術後合併症および予後との関連を明らかにすることを目的とします。これにより予後不良因子の抽出や、適切な治療戦略の構築に資する知見を追究し、宿便性大腸穿孔の治療成績向上に貢献することが期待されます。

２．研究方法

当科で治療を受けられた宿便性大腸穿孔患者さんの背景疾患や病歴、治療歴、血液検査データ、画像診断データ、手術標本の病理所見、術後経過をはじめとする様々なデータを診療記録より抽出し、治療成績を検証します。

３．対象となる方

2020 年 1 月から 2026 年 12 月までに当科で治療を受けられた宿便性大腸穿孔の患者さん。

４．利用する資料・情報

診療記録に残された血液データ、手術標本データ、画像データ、病歴など。

５．研究期間

2026 年 8 月倫理委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日

６．個人情報の取扱い

この研究では、患者さんの個人情報を守るための対策を行います。患者さんの大切な情報を適切に取り扱い、安心していただけるよう努めます。

個人情報は匿名化し、専用の番号を付けることで、患者さん個人が特定されないように管理します。ま

た、研究データはパスワードで保護された電子データベースに厳重に保管します。

① 収集したデータは、この研究の目的のみに使用し、それ以外には一切利用しません。

② 研究成果は、学術論文や学会発表で公表されることがありますが、患者さん個人が特定される情報は含まれませんので、ご安心ください。

７．利益相反

この研究に関わる特定の企業や団体との利害関係は一切ありません。

８．お問い合わせ先

〒524-8524 滋賀県守山市守山 5-4-30 滋賀県立総合病院

TEL：0570-00-5031（代表）

外科 副部長 佐々木勉